マゼット式

可搬式
攪拌機

ＰＧ型
取扱説明書

T．K．S．

東海興業精機株式会社

〒474-0036
愛知県大府市月見町３丁目１１５番地
TEL（0562）46−2263
FAX（0562）46−3298
E-mail：mazet@t-seiki.co.jp
ＵＲＬ:http://www.t-seiki.co.jp

マゼット攪拌機の御使用に際して

マゼット攪拌機は独自の技術をもって製作されておりますが、その取扱いが適切でないと、思わぬ故障を起こしたり、機械寿命を縮めたりする事があります。

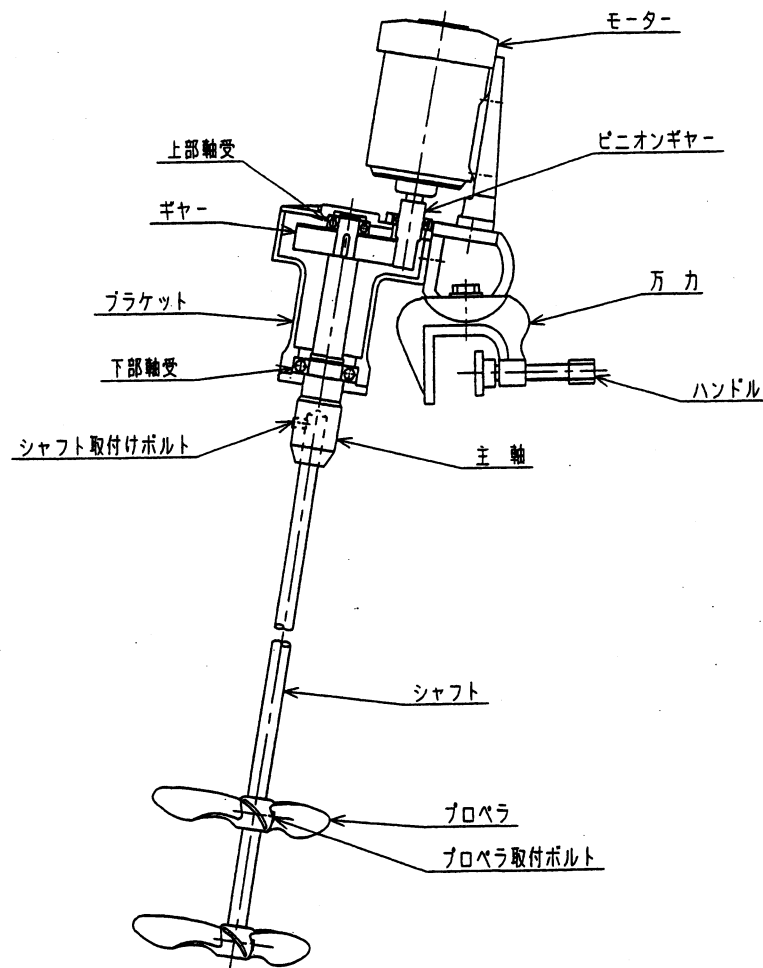
また、性能を十分に発揮できない事もありますので、取扱説明書を熟読の上、御使用下さい。

尚、据付の際はもちろん、保守点検の際もご活用ください。

購入時の点検

マゼット攪拌機は厳重な検査を行った上で納入していますが、念のためつぎの事項を確認して下さい。

1) 銘板(ネームプレート)に記入してある攪拌機の型式、kW、回転数が御注文通りか。
2) 電動機の電圧、極数、仕様、(全閉外扇、安全増防爆、耐圧防爆、屋内、屋外等)御注文通りか。
3) 運搬中の事故などで破損していないか。また、部品の脱落がないか確かめて下さい。

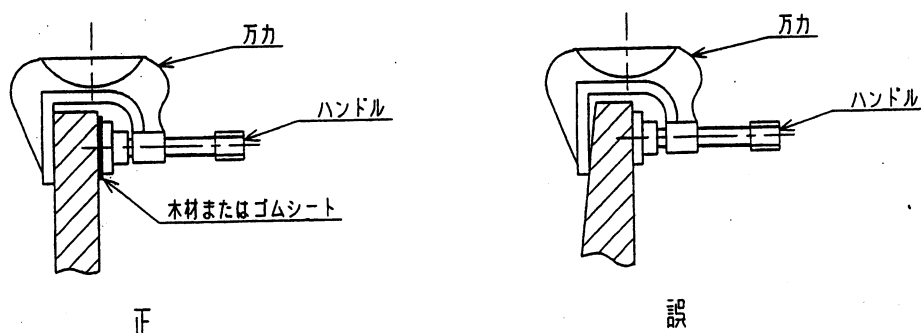
構　　造

第一図

据付上の注意事項

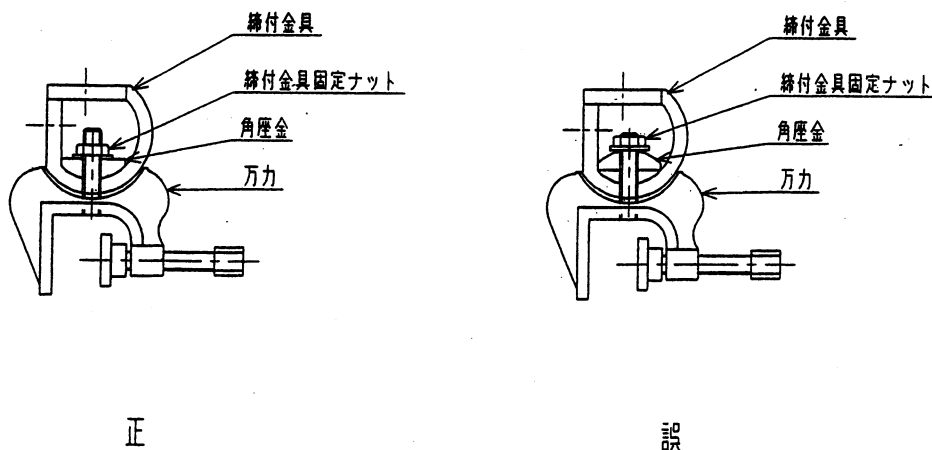
1) 据付場所は風通しが良く、ホコリの無い乾燥した場所で使用するのが理想的ですが、電動機は単相電源で防滴保護形、三相電源で全閉外扇形を取付けていますので、一般の工場でも、十分御使用いただけます。

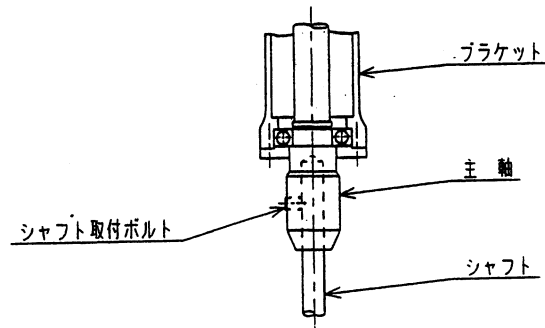
尚、屋外設置、爆発性ガス発生または防触性ガス雰囲気の場所で御使用される際は、それぞれ屋外モーター、防爆モーター、防触モーターを取付けた攪拌機をお薦めします。

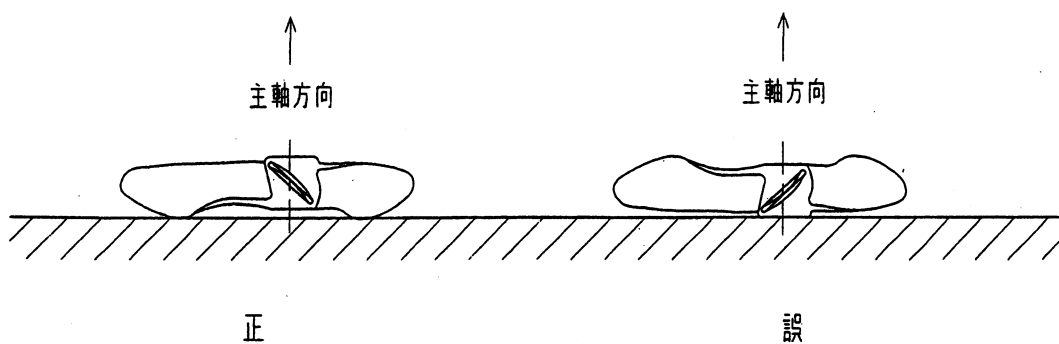
2) 本機を取付けの際は、堅牢な架台に確実に取付けて下さい。不安定な取付は、振動を発生させたり、シャフトが振れたり、その他思わぬ事故を起こす原因となることがあります。

3) 取付の際、まず平行な架台に万力を取付けて下さい。尚、木材またはゴムシート等をはさむと、取外しの時便利です。(第二図参照)

第二図

4) 攪拌機の締付金具部分を万力の球面部分にのせて下さい。次に角座金を締付金具の球面合わせて(角座金の取付方向及び上下に注意)締付金具固定ナットを確実に締付けて下さい。(第三図参照)

正　　誤

第三図

5) シャフトを取付ける際は、布などでシャフトのゴミを掃きとって下さい。次に、シャフトの面取り加工のしてある方を主軸に差込んで下さい。シャフトの先端が当たるまで差込んだら、シャフトセットボルトを面取り部分に合わせて締付け下さい。ボルトを他の部分に固定すると、シャフトが脱落することがあります。(第四図参照)

第四図

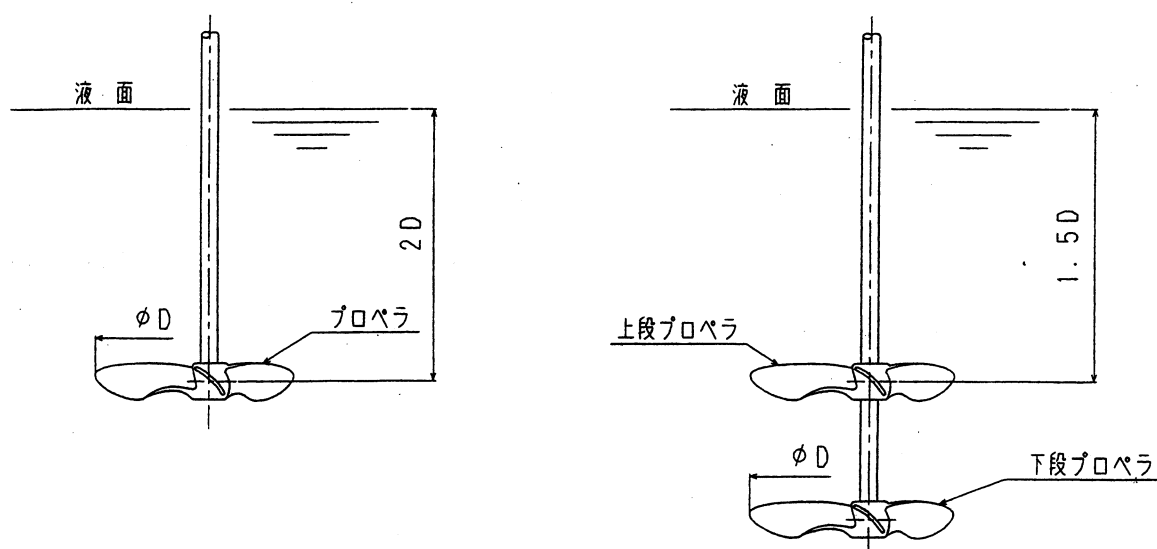
6) プロペラはシャフトのボルト用溝部分にプロペラセットボルトで固定して下さい。他の部分に固定すると、プロペラの脱落や、バリが出て抜けなくなる恐れ等があります。
やむを得ずにプロペラの取付位置を変えたい時は、一旦シャフトを外し、皿モミをして下さい。
また、プロペラは必ず正しい方向で取付けて下さい。逆向きに取付けると攪拌効果が悪くなります。(第五図参照)

第五図

運 転 上 の 注 意 事 項

1） 電動機配線の際は、必ず安全装置をつけて下さい。電動機容量に合ったブレーカー、サーマルリレーを使用すれば、過負荷等の事故防止に役立ちます。

2） シャフトの回転方向は上から見て右回転（時計廻り）となっておりますので、攪拌機ブラケットに示された矢印通りに廻るように結線して下さい。

3） 空転禁止機は、液面通過・空運転を絶対にさけて下さい。空転するとシャフトが曲るだけでなく、槽及び槽内部の取付部品を損傷する危険があります。シャフトが曲る原因で一番多いのが、運転中、液面がプロペラを通過する時なので十分御注意下さい。

空転禁止機は、必ず第六図の条件を満たす状態で運転して下さい。

第六図

尚、一度曲ったシャフトは新品と交換しなければ使用できません。

4） 回転方向（電気配線後）の確認は第六図のように液位が十分満たされている状態で行って下さい。空転で確認する場合は、シャフト、プロペラを外してから行って下さい。

※回転方向は攪拌機本体に記載してあります。

5） 攪拌機の取付角度を変更する場合は、締付金具固定ナットをゆるめて下さい。尚、角度変更の際は必ずブラケット部分を支えて動かして下さい。シャフトまたはプロペラをもって動かすとシャフトが曲る恐れがあります。

保 守 点 検

1） 攪拌機を使用中長い間には思わぬ故障を生ずる事もありますから、異常音、振動、発熱には特に御注意下さい。

2） 潤滑を必要とずる個所は、軸受及びギヤーですが、軸受はシールベアリングを使用していますので、通常の使用状態では軸受の寿命迄グリースの補給は必要ありません。
また、ギヤーは高級樹脂ギヤーを使用、グリースを充填し、出荷しておりますから通常の使用状態では補給の必要はありません。

分　　解

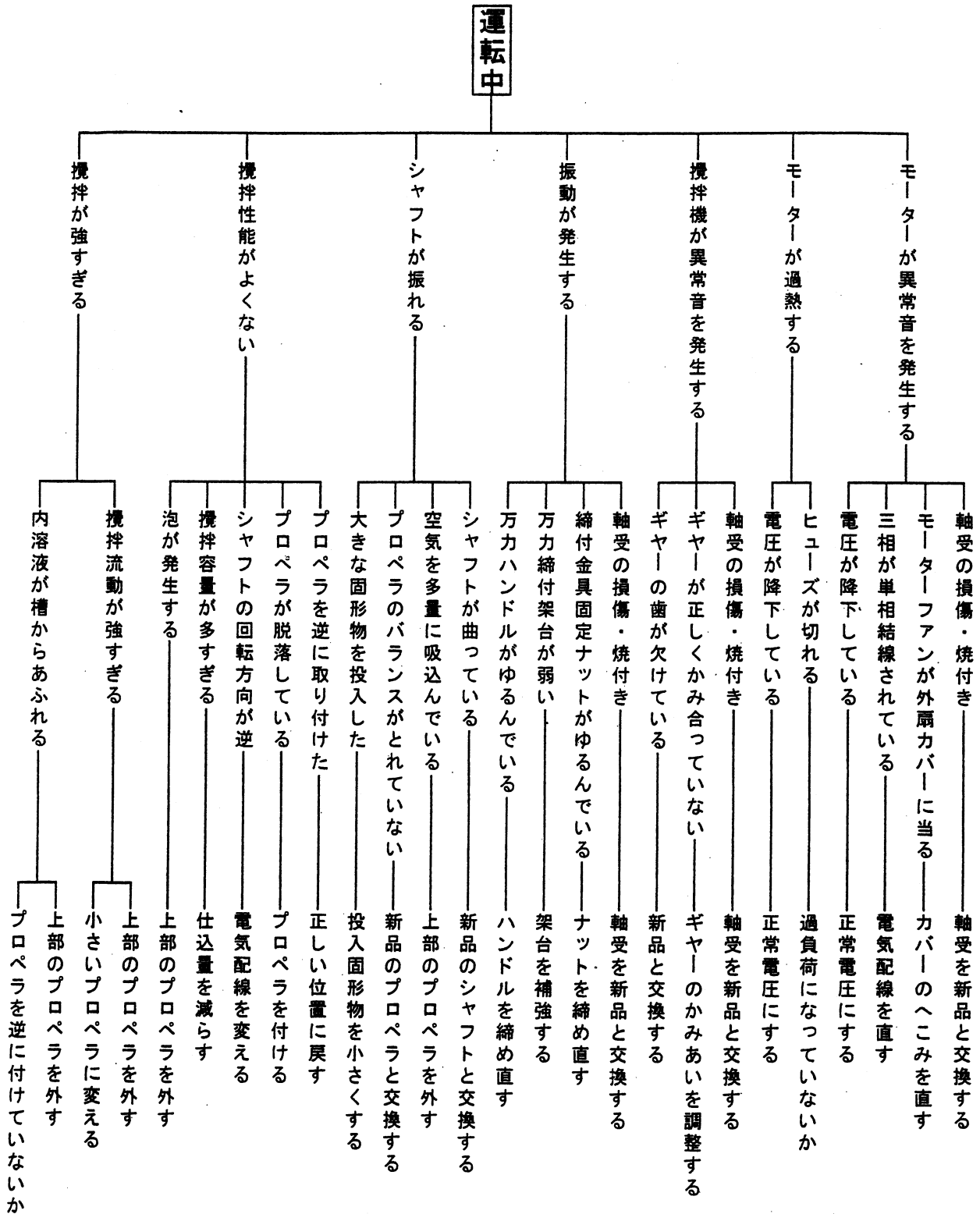
1） 分解は必ず機械の知識のある方が行って下さい。

2） 軸受、ギヤーはスピンドル油等で洗浄してから組立てて下さい。また、ギヤーはカップグリースを塗布して下さい。

交 換 部 品

マゼット攪拌機の交換部品は下表の通りです。尚、ギヤー交換の際は弊社にお問い合わせ下さい。

動　　力	上部軸受	下部軸受	オイルシール
0.065～0.1kW	6202ZZ	6004ZZ	TC25458
0.2kW	6202ZZ	6004ZZ	TC25458
0.4kW	6205ZZ	6208ZZ	TC30458
0.75kW	6205ZZ	6208ZZ	TC30458
1.5kW	6205ZZ	6208ZZ	TC40528

攪拌機の事故原因とその対策

攪拌機の故障、交換部品の御注文等お問い合わせの際は、下記の項目をお調べの上、ご通知下さい。

1）ネームプレートに記載してある型式、機械番号、出力、製造年月、回転数

2）故障の内容とその原因

【安全上の注意】

◆製品を安全に御使用頂く為に、必ずこの『安全上の注意』をお読みの上御使用ください。

◆当社製品を安全にお使い頂く為に、危害や損害を未然に防ぐ為の注意事項をその内容により **危険・警告・注意** の 3 種類に区分し、それを示す表示ラベルを攪拌機本体に貼付してありますので、下記に表す注意事項を必ずお守り下さい。

表示ラベル

危険・警告・注意を促す意味がある事を告げるものです。

危険

1. 攪拌機には物を乗せたり、人が乗ったりしないで下さい。
2. ベルトカバーや安全カバーを外した状態では絶対に運転しないで下さい。
3. 攪拌機（MTVO．MTVCタイプ）の運転中は、Vベルトカバーの中へ、手や物等を入れないで下さい。
4. 攪拌機（PG．PGMタイプ）の運転中は、ボルト、ナットをゆるめて角度調整等をしないで下さい。
5. 攪拌機の運転中は、回転体にを手を触れないで下さい。
6. 攪拌機の分解・点検をする際は必ず電源を切って下さい。

警告

1. 攪拌機は原則として空運転をしないで下さい。（但し、使用条件打合せによる空転可能タイプは除く。）
2. 攪拌機の改造はしないで下さい。
3. 攪拌機の取付の際には堅牢な架台をご使用下さい。
4. 攪拌機のセットボルト（主軸・筒カップリング・フランジカップリング・・・etc）は確実な締付をして下さい。
5. 電気配線工事は電気設備基準等に準じて行って下さい。

注意

1. 攪拌機の分解時には、加工部品等で手を切らないように、手袋を着用して下さい。
2. オイル潤滑の攪拌機は、出荷時にはオイルが抜いてありますので、運転時には必ずオイルを入れて下さい。
3. 回転方向及びプロペラの上下方向を確認して下さい。
4. ボルトの緩み、オイルの補給、または交換等の点検を励行して下さい。
5. 異物の付着、絡みつき等は運転に支障が有りますので除去して下さい。

【修 理 と 保 証 】

ご購入の攪拌機の修理につきましては、御注文先若しくは当社にご用命下さい。

1. ご購入製品の保証期間は、納入日より『**1 年間** 』と致します。
2. 保証期間内に正常な使用（取扱説明書に基く）にも拘らず、当社の不備により故障及び破損が生じた場合は、修理若しくは部品交換等は無償と致します。
3. 但し、以下の場合は保証期間内であっても有償と致します。
   ① 保証期間経過後の故障及び破損。
   ② 保存方法の不備及び使用条件の相違による故障及び破損。
   ③ 火災・天災等の災害及び不可抗力による故障及び破損。
   ④ 当社及び当社指定店以外の修理、改造による故障及び破損。
4. 攪拌機の故障が原因で発生した二次的損害・損失についての補償はご容赦下さい。

攪拌機をご使用中に、異常を感じた場合は、すぐに運転を停止して下さい。

取扱説明書を参照されまして、原因の究明をお願い致します。もし、故障の場合には御注文先若しくは当社へご連絡下さい。

ご連絡の際には、銘板記載事項等を詳細にお知らせ下さい。

◆この取扱説明書をお読みになった後は、当社攪拌機をお使いになる方々の目の届く所へ保管して下さい。